

# 「心肺蘇生法」を学習して

平成 25 年 7 月 23 日 射水市立小杉南中学校 保健室発

7月18日(木)、射水市医師会の医師や看護師の方、射水消防署の方々10名を講師に招いて、2年生を対象に「心肺蘇生法実技講習会」を行いました。心肺蘇生練習人形を使用して救急車が来るまでの応急手当の手順を学びました。実習後の感想の中から一部を紹介します。

今日の実習では、日頃できないことをやらせてもらえて、すごくいい体験ができました。いざという時は、今日の体験を生かして消防署の方々に協力できるようにしたいです。(1組)

人工呼吸の仕方が難しかったです。上半身がうまく起こせなくて、気道確保が大変でした。もっと思いっきり吹き込めばよかったと後悔しています。心臓マッサージは結構できました。いざという時には冷静に対応したいです。(1組)

私は順番が1番で、恥ずかしくてなかなかできませんでした。そんな時、講師の先生が厳しく叱ってくださり、命の大切さを強く語ってくださっているように感じました。今日学んだことを、もしもの時にできるように頭に入れておきたいです。(1組)



初めは全然分からなかったけど、講師の先生がとても分かりやすく教えてくださいました。昨日までは何もできなかったけど、今日からは、倒れている人がいたらパニックにならず冷静に心肺蘇生法をして、命を救えたらいいなと思います。

今日教わったことを忘れないようにしたいし、テキストを見てケガ等にも対処できるようにしたいです。(1組)



最初は少し恥ずかしい気持ちもあったけど、思いきってやってみると、しっかりやる事ができて、ほめられてうれしかったです。今日は、しっかりと学ぶことができたので、もしもの緊急の場面でも、冷静に行動できると思います。

教えていただいた講師の方々には、とても感謝しています。(1組)

今までは、もし倒れている人がいても何もできなかったと思います。今日、応急手当の仕方を知ったので、これからは習ったことを思い出して、あわてずに手当をしたいと思います。

応急手当は、一人ではできないので協力することが大切だと思いました。(2組)



特に難しかったのは、人工呼吸です。先生には「胸がふくらむくらい息を入れたらいいよ。」と言われたけど、なかなか息が入らずに大変でした。もし倒れている人がいたら、無視せず積極的に助けたいです。 (2組)

人が倒れていたら、人工呼吸をしたり、他の人に助けを求めたりすることが大切だと分かりました。今日は恥ずかしくてできなかったことがあり、それはいけないことだと思います。もし倒れている人がいたら、助けたいと思います。 (2組)

心肺蘇生法を5セットやると、結構疲れしました。これを救急車が来るまでやり続けることは、相当大変だと思いました。AEDも5種類くらいあって、電源の付き方も違うと聞きました。今回教えていただいたことはとても大切だと思うので、いざ使うときはしっかりできるようにしたいです。 (3組)



1セットするだけで、とても手が疲れて痛くなったけど、人を助けるためにはそんなこと言っていられないと思いました。AEDや人工呼吸、心臓マッサージの仕方が分かったので、もしもの時、落ち着いて実行したいと思います。 (3組)

もし本当に家族が倒れたら、何をすればいいのか、今まで全く知らなかったけど、実習で細かく丁寧に教えていただいたので、これからはあせらずに行動できそうです。 (4組)



心肺蘇生法を教えてもらい、人が目の前で倒れた場合、どんなふうに対応するかが分かって安心しました。昨日までは、人が倒れても助けてあげられなかった私が、今日新しい自分になったような気持ちです。 (4組)

14歳の挑戦では、消防署で心肺蘇生法を習ったので、今日はみんなの前でやりました。うまくできなくて、反省しています。グループ練習ではうまくできたのでうれしかったです。消防士の方を見て、将来消防士になりたいと思いました。 (3組)



今日の実習を終えて、命の大切さと救急車が来るまで心肺蘇生法を続けることの大切さを学びました。あってはならないことだけど、もしもこのような状況に出会ったら、習ったことをやろうと思います。 (4組)